

世界中で知的財産権確保を強める中国企業に日本企業は
どう対抗すればいいのか。中国で特許出願や特許調査など
を手がける日本アイアールの矢間伸次社長に聞いた。

日本アイアール社長 やま のぶじ 矢間 伸次氏



69年（昭44）芝浦工大機械
工学卒、同年リコー入社。特
許調査などの日本アイアール
を74年に設立。山口県出身、
67歳。

インタビュー

特許戦争は言語の戦争

—中国が高速鉄道の技
術特許を国際出願するな
ど知財戦略を強化してい
ます。どう見ますか。—
「中国版新幹線ビジネ
スは海外展開したい中国
は、国を挙げて取りにい
く。日本からの技術導入
に触れないわけにはいか
ないが、米国なら米国で
企業の特許を侵害してい

ると主張しても勝つのは
難しいかもしれない」
—なぜですか。—
「日本企業がどうい
う特許を出願し、米国で権
利化しているかわからな
いが、中国に対抗できる
特許明細書は日本企業に
おそくないだろう。日
本の特許明細書は国内で
しか通用しない。グロー
バル社会に通用する国際
標準型の特許明細書にし
ないといけないが、まず
なっていないはずだ」
—日本の特許明細書は
どうして世界に通用しな

いのですか。—
「日本の特許は完全に
閉鎖された特許村で、
グローバル化されていな
い。日本人が読んでい
ない。日本人が読んでも何
を言っているのか意味不
明なのが日本の特許明細
書の欠陥だ。強い特許に
するため権利を入念に囲
い込まないといけないの
に、その力がない」
—意味不明な日本語を
ただ翻訳し、海外で権利
を取っているからといっ
て安心してはいけない。
海外の特許庁もしょせん
行政機関。登録させてお

いて何かあれば裁判所で
争えばいいという考え
だ。特許戦争は言語の戦
争だ。文書に書いていな
ければアウト。非論理的
で具体性に欠ける日本語
では勝てない」
—海外市場で競合する
中国企業に日本企業はど
う対抗するべきですか。—
「商売する国で特許を
出すべきだ。特に中国や
台湾の企業は、早く簡単
に権利が取れる実用新案
を上手に使っている。日
本の企業は実用新案を軽
視し、無理やり特許にし
ようとして経費がかかる
一因になっている。それ
で中国で侵害されたと言
句をいっても、権利を取
っていないのは対抗でき
ない。逆に中国企業から
提訴されるリスクもあ
る。中国では特許と実用
新案を同時に特許する
か、実用新案の権利を先
取りしたほうがよい技術
もある」
—日本は実用新案を見
直す必要がありますね。
「中国やインドといっ
た新興国では市場に
出ている商品に使われて
いる技術のちよっとした
改善も利益を生むため重
視される。米国のファン
ドなどは日本企業と合併
事業をしている中国企業
に巧みに出資する。日本
の企業は知的財産に甘い
から、日本からの技術供
与が進んだ中国企業を有
望とみなすわけだ」

実用新案上手に使う

望とみなすわけだ」